



かんばしの風

令和7年10月 27日
富士市立田子浦中学校
学校だより 11月号

校訓	『 美に挑む 』
学校教育目標	『 自分から ～つながる～ 』
重点目標	『 たくましさ やさしさ 』

後期がスタートしました

秋の深まりとともに、後期がスタートしました。10月14日には後期始業式が行われ、各学年の代表者が抱負を語りました。1年生の代表生徒は、「前期学年委員としてクラスや学年をまとめる難しさを学び、仲間の応援に支えられながら成長を実感した。後期は『自分に厳しく、人に優しく』を意識し、クラスを支える存在になりたい」と述べました。

2年生の代表生徒は、「前期は勉強や林間学校など、多くの経験を通して成長を感じた。受験を見据え、日々の積み重ねを大切にし、仲間と支え合いながら3年生にふさわしい姿を目指したい」と語りました。

3年生の代表生徒は、「『当たり前前をのこることを当たり前にする』ことを大切に、学年委員長として学年を導きたい。授業や日々の生活を丁寧に積み重ね、卒業時に『この仲間と過ごせてよかった』と思える学年にしたい」と決意を述べました。

後期は、3年生が卒業に向けて自分の進路を見つめる時期であると同時に、学校の中心が少しずつ2年生へと移っていく時期でもあります。10月22日に行われた臨時生徒大会では、新生徒会長や各専門委員長が、後期活動方針を堂々と述べ、リーダーとしての責任を果たそうとする姿が見られました。その姿勢の中に、先輩たちから受け継いだ伝統と、これからの学校を担う自覚が確かに芽生えていると感じました。



臨時生徒大会の様子

蒼波祭に向けて

今、学校全体が「蒼波祭」に向けて活気づいています。蒼波祭は、「文化の部」と「体育の部」の両方で、生徒が力を合わせて創り上げる本校最大の行事です。クラスや学年の仲間とともに意見を出し合い、準備を重ねる過程には、学びや成長の機会があふれています。当日の合唱や競技だけでなく、その日を迎えるまでの努力の積み重ねこそが、行事の大きな意義であり、かけがえのない経験となることでしょう。一人一人が自分の役割を果たしながら、行事を創る楽しさややりがいを感じてくれることを期待しています。

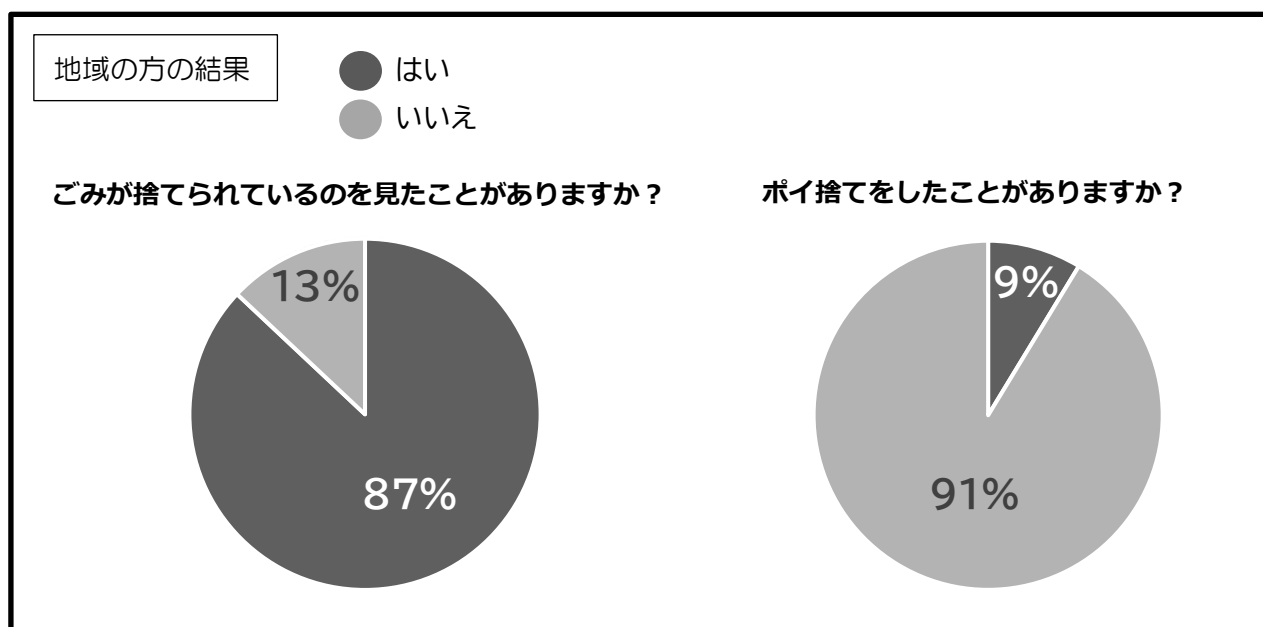
季節は実りの秋。学習にも生活にも一層充実を感じられる時期です。生徒たちが互いを認め合い、高め合いながら、次のステップへと力強く進んでいけるよう、田子浦中教職員一同、心を込めて支えてまいります。

3年生「総合的な学習の時間」より

先月号でもお伝えしたとおり、3年生は「総合的な学習の時間」で、地域の活性化に焦点を当て、探究活動をしています。その中で、あるグループが行ったアンケートに、地域の方からメッセージをいただきました（個人の特定を防ぐため一部編集しています）。

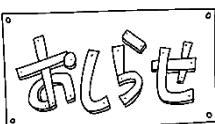
近所の田んぼや畑に、カンやペットボトル、たばこの吸い殻、菓子袋等が捨てられており、困っています。田植えシーズン前は、まずゴミを取り除くことから始めているようです。モラルの問題ですね。これからも皆さんが住む地域のことを、いろいろな角度からぜひ調べてください。今回はこのような取組をしていただき、ありがとうございます。

このグループが行ったアンケートの結果（一部）を紹介します。



この結果をもとに、このグループは地域の課題解決に向け、探究学習を進めています。この他のグループも、それぞれ、同様の活動を行っています。自分たちが住む地域の課題や現状と向き合うことは、未来を担う中学生にはとても大切なことです。3年生に限らず、1、2年生も今のうちから、少しずつ考えていければと思います。

保護者の皆様や地域の皆様には、アンケートに加え、温かいメッセージもいただき、生徒たちの大きな励みとなりました。ご協力ありがとうございました。



10月中旬から、田子浦中学校のプール解体工事が始まりました。跡地は、駐車場になる予定です。河川拡幅工事等も重なり、工事車両の出入りが多くなります。生徒の登下校時は誘導員をつけるようお願いしています。保護者の皆様も、来校される際はお気をつけください。